

献立ひとくちメモ

9月29日(火)

先日の9月25日は、十五夜でした。

十五夜は、本来、旧暦で新月から15日目の夜に見える月のことです。



中でも、秋の中頃^{なかごろ}である、旧暦の8月

15日(現在の暦で9月後半頃)の月は、1年の中でも特に月が美しく見えると言われたことから、『中秋^{ちゅうしゅう}の名月』と呼ばれるようになりました。

現代では「十五夜」というと、この「中秋の名月」を指すことが多いです。

また、この特別な月を眺める行事(お月見)もあります。お月見には、「月見団子」をお供えする風習があります。中秋の名月の頃はちょうど収穫^{しゅうかく}の時期であるため、実りへの感謝を込めて、収穫^{しゅうかく}したお米で、保存に優れ、月と同じ丸い形のお団子を供えるようになったそうです。